

ProMED-mail情報 2020年 9月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	アフリカ豚熱 (ASF) ドイツ	連邦農業省はドイツ東部ブランデンブルク州の野生イノシシ2例に、アフリカ豚熱を確認。2020年9月10日の最初の報告以降、確認された野生動物例は38例で、家豚感染例なし。
28日	ツツガムシ病 ネパール	ツツガムシ病とデング熱の症例数が増加。バグマティプラデーシュ州チトワン地区のバラトプル病院によれば、7月17日～9月16日の2ヶ月間に検査された345人中にツツガムシ病69人、デング熱24人が診断された。
27日	ウエストナイル熱 スペイン	アンダルシア州セビリアで77歳女性が死亡。8月第1週の入院1例目が確認されてから5例目の死者。セビリアでは陽性サンプル数は31例、確認された症例数は25例。入院患者5例中3例はICUに入院中。カディスで確認された症例数は9例、陽性サンプル数は3例。入院中は1例。
26日	クリミア・コンゴ 出血熱 (CCHF) インド	グジャラート州は今年クリミア・コンゴ出血熱の4例を報告。うち3例が「weekly outbreak」で国立疾病管理センターに報告。CCHF感染35例と死亡17例が報告された2019年よりも少ない。州保健局は積極的な対応により2020年になってCCHFの流行は報告されていないと主張。
24日	ダニ媒介性脳炎 (TBE) ドイツ	ロバート・コッホ研究所はTBE症例の増加を報告。2020年は9月7日までに535例が報告され、2018年同期間に比べ14%の増加とこれまでで最多。保健当局は、COVID-19暴露のリスクを低下させるため屋外で余暇を過ごすことが増えているからではと示唆している。
23日	麻疹 米国	米国CDCは2020年9月15日、アフリカ各国の麻疹流行に関する新しい渡航指針を発表。レベル1の予防措置通知には「CDCの予防接種スケジュールに従って、乳児や就学前の子供を含むアフリカに渡航するすべての旅行者は、麻疹に対しての予防接種を完全に受けるべきである」と記載。
16日	東部ウマ脳炎 (EEE) 米国	インディアナ州ラポート郡で東部ウマ脳炎の可能性。州保健当局は住民に防蚊対策を勧奨。ヒト感染は稀だが、悪寒、発熱、体痛、関節痛、より重篤な例では脳炎を発症。インディアナ州北部は2019年に大きな流行があり、ヒトの死亡1例、馬が14症例、および蚊の陽性サンプルが1例。
15日	ビブリオ・ バルニフィカス感染症 米国	感染者の異常な増加のため、コネチカット州保健当局はロングアイランドサウンド沿いの海水や汽水に暴露する危険性について海岸線地域の一般市民に警告。2020年7月以降、5例が公衆衛生省に報告。本来は非常に稀な疾患であり、過去10年間にコネチカット州で報告された症例は7例。
8日	マラリア インド	全インド医学研究所は、急性熱性疾患の研究中、北インド住人にサルマラリア原虫を発見。患者はデングウイルスやレプトスピラ、ツツガムシのような他の病原体と共感染し、それらは病気の重症度に影響を与えた。
5日	炭疽 中国	内モンゴルで皮膚炭疽1例を確認。患者が飼育していた羊4頭が連続して死亡し、患者と村人2人はそれらの皮を剥ぎ、家族と一緒に肉を食べた。
4日	腺ペスト モンゴル	モンゴル西部のザヴカン州で2020年9月3日にマーモット肉を食べた38歳男性に腺ペストの疑いありと報告。国立伝染病センターによれば、全21州のうち最大17州に腺ペストの危険性。2020年に入って18例の疑い症例が報告され、うち4例は検査で陽性が確認。
2日	ボツリヌス症 ベトナム	少なくとも9例の食物媒介性ボツリヌス症が報告され全員が入院。ベトナム保健省の食品安全局によれば彼らはミン・チャイ・パテ製品を食べており、製品を検査したところ陽性。生産過程での汚染を指摘。
1日	サル痘 コンゴ民主共和国	9月1日サンクル州の保健当局は、感染者141例、うち死亡10例を確認したと報告。サル痘は天然痘に似た症状だがそれほど重症ではなく、主にげっ歯類や霊長類などから伝染。WHOによればヒト-ヒト感染も起こる。